

消防消第206号  
平成27年11月10日

各都道府県消防防災主管部長 様

消防庁消防・救急課長  
(公印省略)

消防本部における人事評価制度の導入状況等及び「人事評価記録書参考例」について(通知)

このことについて、地方公共団体における人事評価制度の導入を義務づけた、地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律(平成26年法律第34号。以下「改正法」という。)が昨年5月に公布され、平成28年4月から施行されます。

各消防本部におかれましては、改正法の趣旨を踏まえ、消防本部における人事評価制度の導入に係る諸整備を行っていただいていることと承知しておりますが、「地方公務員法改正に伴う人事評価制度の施行に向けた準備状況の調査について」(平成27年9月11日付け消防消第170号。以下「準備状況調査」という。)による調査結果は別添1のとおりです。

この準備状況調査の結果も踏まえ、人事評価制度の導入に係る各消防本部の執務上の参考として別添2のとおり、消防吏員用「人事評価記録書参考例」を作成しましたので送付します。

貴職におかれましては、貴都道府県内の市町村(消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。)に対してこの旨周知されるとともに、改正法の趣旨、内容に十分御留意いただき、貴都道府県の市町村担当部局とも調整のうえ、全ての消防本部において人事評価制度が施行日までに円滑に導入できるよう配慮をお願いします。

なお、本通知は、消防組織法第37条の規定に基づく助言として発出するものであることを申し添えます。

問い合わせ先  
消防・救急課職員第一係  
大河内・山下・日影  
TEL 03-5253-7522

## 地方公務員法改正に伴う人事評価制度の施行に向けた準備状況調査【概要版】 (調査基準日:平成27年9月1日)

消防本部数	750
-------	-----

問1 人事評価				
導入済				未導入
目標管理あり		目標管理なし		
	全職員	一部職員	全職員	一部職員
本部数	195	103	58	8
全体に占める割合	26.0%	13.7%	7.7%	1.1%
(参考:首長部局)	39.7%		8.8%	
	42.4%		12.6%	

問1～問4の最下段は、総務省自治行政局公務員部において実施した、各地方公共団体の首長部局の常勤職員を対象とした人事評価制度の施行に向けた準備状況調査の結果である。(調査基準日:平成27年5月1日)

全体1788団体

問2 人事評価制度に関する規程等			
整備済	未整備(整備予定時期)		
	平成27年度中	未定	その他
本部数	311	283	149
全体に占める割合	41.5%	37.7%	19.9%
(参考:首長部局)	40.6%		0.0%

規程等整備予定時期「その他」の理由(主なもの)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度中に整備予定。</li> <li>・来年度、消防広域化を実施し、広域化後の消防本部の規程を適用。</li> </ul>



全体1788団体

問3 標準職務遂行能力			
整備済	未整備(整備予定時期)		
	平成27年度中	未定	その他
本部数	259	294	190
全体に占める割合	34.5%	39.2%	25.3%
(参考:首長部局)	31.5%		0.0%

標準職務遂行能力整備予定時期「その他」の理由(主なもの)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度中に整備予定</li> <li>・来年度、消防広域化を実施し、広域化後の消防本部の規程を適用。</li> </ul>



全体1788団体

問4 本格実施開始予定時期					
	平成27年度中	平成28年4月1日	改正法附則第3条に基づく経過措置終了後	未定	導入済団体
本部数	3	256	16	111	364
全体に占める割合	0.4%	34.1%	2.1%	14.8%	48.5%
(参考:首長部局)	0.4%		36.2%		48.5%
	0.8%		37.7%		55%

全体1788団体

問5 人事評価制度の導入に係る課題	
自由記述	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防の職務にあった業績目標の設定、達成状況等の評価のため、消防職の目標、評価についての例示を要望する。</li> <li>・災害活動現場に必要とされる能力について適切に評価されるよう、工夫が必要である。</li> <li>・各階級に応じた人事評価制度の内容について精査が必要。</li> <li>・組合消防として制度の導入をするため、構成市町村間における評価制度の整合性を図る必要がある。</li> <li>・首長部局の導入が進んでいないため導入に苦慮。</li> <li>・評価者の技量を高めるための研修の実施及び職員の理解を深めるための説明の実施。</li> <li>・評価制度の導入に際してシステムの導入が望ましいが、予算措置が困難。</li> </ul>	

問6 人事評価結果の活用に係る課題	
自由記述	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防職においては部隊活動を主としているため、業務の達成実績という観点で個人への評価が困難である。</li> <li>・毎日勤務者と隔日勤務者では求められる能力(評価)に違いがあるため、評価に際して配慮が必要である。</li> <li>・低い評価となった職員の士気の維持等のための環境の整備。</li> <li>・各職員に対する公平性、平等性、納得性等の確保が困難である。</li> <li>・給与等への反映にあたり、自己の評価に対する不服申立等の対応に不安がある。</li> <li>・既に制度を導入済みであるが、評定者の研修等をあまり実施していないため、制度導入の前後において、組織力の向上等の一定の効果が見られず、効果的な運用に至っていない。</li> <li>・任用・給与等に係る首長部局との調整。</li> </ul>	

人事評価記録書(消防士長※隊員を想定)例

評価期間	平成	年	月	日	～	平成	年	月	日
------	----	---	---	---	---	----	---	---	---

期末面談	平成	年	月	日
------	----	---	---	---

被評価者	所属:	職名:	階級:	氏名:
------	-----	-----	-----	-----

1次評価者	所属・職名:	階級:	氏名:	1次評価記入日:	平成	年	月	日
2次評価者	所属・職名:	階級:	氏名:	2次評価記入日:	平成	年	月	日
確認者	所属・職名:	階級:	氏名:	確認日:	平成	年	月	日

( I 能力評価)

評価項目及び行動／着眼点	自己申告	1次評価者		2次評価者
	(コメント:必要に応じ)	(所見)	(評語)	(任意)
<b>&lt;倫理&gt;</b> 1 消防職員としての責任を自覚し、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。 ① 責任感 消防職員としての責任をもって業務に取り組む。 ② 公正性 全体の奉仕者として、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。				
<b>&lt;知識・技術・業務遂行&gt;</b> 2 消防に関する業務について、基礎的な知識・技術のみならず、応用力を身につけ適切に業務を遂行する。 ① 適切な業務遂行 基礎的な知識・技術のみならず、応用力を身につけ、自分の果たすべき役割を理解し、業務を遂行する。 ② 知識・技術の向上 業務を通じ、より専門的な知識・技術を身につける。				
<b>&lt;コミュニケーション&gt;</b> 3 上司・同僚等と円滑かつ適切なコミュニケーションを図り、業務を推進する。 ① 協調性 上司・同僚と協力的な関係を構築する。 ② 上司への報告等 問題が生じたときには速やかに上司に報告をするなど、情報の共有化を図る。				
<b>&lt;消防活動&gt;</b> 4 災害状況を把握し、上位階級者の指示・命令に基づき的確に活動する。 ① 判断力 災害に際し、冷静に状況を把握し、迅速・的確に活動ができる。 ② 安全管理 事故を未然に防ぐため、必要な安全管理の知識や手順を理解し、確実に行うことができる。				

【全体評語等】

1次評価者	2次評価者
(所見)	(所見)
(全体評語)	(全体評語)

評価期間	平成	年	月	日	～	平成	年	月	日
------	----	---	---	---	---	----	---	---	---

期首面談	平成	年	月	日
期末面談	平成	年	月	日

被評価者	所属:	職名:	階級:	氏名:
------	-----	-----	-----	-----

1次評価者	所属・職名:	階級:	氏名:	1次評価記入日:	平成	年	月	日
2次評価者	所属・職名:	階級:	氏名:	2次評価記入日:	平成	年	月	日
確認者	所属・職名:	階級:	氏名:	確認日:	平成	年	月	日

(Ⅱ 業績評価)

【1 目標】

番号	業務内容	目標 (いつまでに、何を、どの水準まで)	困難	重要	自己申告 (達成状況、状況変化その他の特筆すべき事情)	1次評価者		2次評価者 (任意)
						(所見)	(評語)	
1	【係・隊の目標】 隊で行う訓練の企画及び今後の災害対応の方策の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎当直1回実施する部隊強化を目的とした各種訓練について、訓練内容を毎月3つ以上企画し、隊長に提案する。</li> <li>・各種災害活動終了後のミーティングにおいて挙げられた反省点等について、改善策を検討し、今後の災害活動に活かす。</li> </ul>		◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に機器取扱い訓練、救助操法訓練について、毎月3回企画し、事前学習した上で訓練に臨むことで、効果的な訓練が実施できた。</li> <li>・各種訓練を通じて隊員同士の意思疎通を図り、消防活動時における連携機能の向上に努めた。</li> <li>・災害出場後のミーティングにおいては、推奨点、反省点それぞれについて発言するよう努め、今後の災害対応の方策の検討に資することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種訓練を意欲的に企画し、事前学習に努めるなど、向上心をもって業務に取り組んでいる。</li> <li>・災害終了後のミーティングにおいて、自身の活動状況について積極的に発言するなど、部隊強化に熱心に取り組んでいる。</li> </ul>	b	b
2	【個人の目標】 効果的な訓練実施による活動能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の訓練日誌を作成し、実施内容、隊長からの指示事項等を記録することにより今後の活動に活かし、活動能力の向上を図る。</li> <li>・訓練日誌については隊で共有できるよう、共通の様式を6月までに新たに作成する。</li> <li>・訓練実施に際しては、隊員同士で活動要領の確認を入念に行い、訓練効率の向上を図る。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容、隊長からの指示事項を中心に訓練日誌を作成し、係内で共有することで同様のミスの軽減につながった。</li> <li>・訓練実施前後に隊員間で打ち合わせや振り返りを行ったことで、消防活動時における連携機能の強化を図ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動訓練時における指示事項等を日誌に書き留め、それを共有するようにしたことにより、従前よりも確かな活動が行えるようになり、一定の活動技術の向上が見られた。</li> <li>・隊員間で円滑なコミュニケーションが図られており、消防活動体制の強化につながっている。</li> </ul>	b	b
3	【個人の目標】 自己のスキルアップと後輩職員の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害現場での活動に活用するため、酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習、足場の組立て等作業主任者技能講習を受講し、資格を取得する。</li> <li>・技能講習で身につけた知識を係内で共有する。</li> <li>・新人職員をフォローし、本年度内に災害現場活動においてひとり立ちできるよう指導する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の取得を目標としていた資格をすべて取得することができた。</li> <li>・講習で身につけた知識を係内で共有することができ、隊のレベルアップに貢献できた。</li> <li>・新人職員に対して、災害現場における基本的な活動の流れや活動上・安全管理上の留意点について指導できた。その結果、当該職員は、災害現場において付与された任務については、円滑に行えるようになってきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中堅職員として、自己研鑽に努めているほか、自らが受講した講習の内容について、係内で共有し隊のレベルアップにも寄与している。</li> <li>・若手の良い手本となっているだけでなく、ベテラン職員への刺激にもなっている。</li> <li>・昇任に十分な実力が備わっており、来年度は是非とも試験にチャレンジし、昇任してほしい。</li> </ul>	b	b
4	【個人の目標】 円滑な業務遂行のためのデータ管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当出張所に配置の車両、資機材について、故障・不具合の状況、点検・修理履歴、特性及び留意事項等についてデータ管理し、所内で情報共有するとともに、適切に維持管理を行う。</li> <li>・8月末までに車両及び個々の資機材に係る入力様式を作成し9月から運用開始する。</li> </ul>	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで紙ベースでの管理だったが、データ化することで、管理や過去の修理状況等の検索が容易になった。</li> <li>・工夫した点として、資機材については、取扱要領などには記載のない事項(特性、使用上の留意事項等)についても取りまとめた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両や資機材の管理と情報の共有が容易になった。</li> <li>・また、当局の標準的な点検項目に加え、当所配置の車両、資機材について特に留意すべき箇所なども追加されており、細かな工夫が見られる。</li> </ul>	a	a
5	※上記の記述はあくまで例示です。							

被評価者	所属:	職名:	階級:	氏名:
------	-----	-----	-----	-----

【2 目標以外の業務への取組状況等】

番号	業務内容	自己申告 (目標以外の取組事項、突発事態への対応等)	1次評価者
			(所見)

【3 全体評語等】

1次評価者	2次評価者
(所見) (全体評語)	(所見) (全体評語)

人事評価記録書例(消防司令補※隊長職を想定)例

評価期間	平成	年	月	日	～	平成	年	月	日
------	----	---	---	---	---	----	---	---	---

期末面談	平成	年	月	日
------	----	---	---	---

被評価者	所属:	職名:	階級:	氏名:
------	-----	-----	-----	-----

1次評価者	所属・職名:	階級:	氏名:	1次評価記入日:	平成	年	月	日
2次評価者	所属・職名:	階級:	氏名:	2次評価記入日:	平成	年	月	日
確認者	所属・職名:	階級:	氏名:	確認日:	平成	年	月	日

(I 能力評価)

評価項目及び行動/着眼点	自己申告	1次評価者		2次評価者
	(コメント:必要に応じ)	(所見)	(評語)	(任意)
<b>&lt;倫理&gt;</b> 1 消防職員としての責任を自覚し、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。 ① 責任感 消防職員としての責任をもって業務に取り組む。 ② 公正性 全体の奉仕者として、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。				
<b>&lt;知識・技術・業務遂行&gt;</b> 2 消防に関する業務についての専門的知識・技術に基づき、適切に業務を遂行する。 ① 適切な業務遂行 専門的知識・技術に基づき、上司の補佐、助言を行うなど自らの役割を理解し、適切に業務を遂行する。 ② 知識・技術の向上 業務を通じ、幅広く知識・技術を向上させる。 ③ 部下の指導・育成 自己の有する知識・技術等に基づき、適切に部下の指導・育成を行い、能力向上に資することができる。				
<b>&lt;コミュニケーション&gt;</b> 3 上司・部下・同僚等と円滑かつ適切なコミュニケーションを図り、業務を推進する。 ① 協調性 上司・部下・同僚と協力的な関係を構築する。 ② 上司への報告等 問題が生じたときには速やかに上司に報告をするなど、情報の共有化を図る。				
<b>&lt;消防活動&gt;</b> 4 災害状況を把握し、上位階級者を補佐するとともに、的確に自隊の指揮を行う。 ① 判断力 災害に際し、冷静に状況を把握し、隊員に的確に指示・命令ができる。 ② 安全管理 常に危険側に立った視点で、安全管理に配慮した部隊活動を指示・命令でき、自己の安全管理も的確に行える。				

【全体評語等】

1次評価者	2次評価者
(所見)	(所見)
(全体評語)	(全体評語)



評価期間	平成	年	月	日	～	平成	年	月	日
------	----	---	---	---	---	----	---	---	---

期首面談	平成	年	月	日
期末面談	平成	年	月	日

被評価者	所属:	職名:	階級:	氏名:
------	-----	-----	-----	-----

1次評価者	所属・職名:	階級:	氏名:	1次評価記入日:	平成	年	月	日
2次評価者	所属・職名:	階級:	氏名:	2次評価記入日:	平成	年	月	日
確認者	所属・職名:	階級:	氏名:	確認日:	平成	年	月	日

(Ⅱ 業績評価)

【1 目標】

番号	業務内容	目標 (いつまでに、何を、どの水準まで)	困難	重要	自己申告 (達成状況、状況変化その他の特筆すべき事情)	1次評価者		2次評価者 (任意)
						(所見)	(評語)	
1	【係・隊の目標】 ・計画的な訓練の実施による部隊のスキルアップ ・災害活動に係る検証の実施	・各隊員の知識・技術・経験を活かし、隊員のスキルアップ及び部隊強化を目指した各種訓練を毎直1回実施し、併せて自己の指揮技術の向上を図る。 ・災害活動終了後には、自隊においてミーティングを行い、推奨点、反省点等について検証し、今後の災害活動に活かす。		◎	・災害出場や各種行事等により、実施できない当直を除き、計画通り訓練を実施した。 ・災害活動時における部隊内の連携が円滑になった。 ・訓練を通じて各隊員が相互に互いの長所や短所を把握でき、チームワークが強化された。 ・災害出場後のグループミーティングにおいては、ひとりひとりに発言する機会を与えることで活動状況について検証ができ、今後の災害活動体制の向上を図ることができた。	・毎直の訓練を継続して実施できた。隊としてのレベルが上がり、局内の技術訓練においても高い評価を得た。 ・災害出場後のグループミーティングを効果的に実施できており、反省点等を普段の訓練実施時に反映させるなど、災害活動能力の向上に努めている。	b	b
2	【個人の目標】 訓練効果向上のための各隊員へのフィードバックの実施	・訓練状況について、訓練の都度、評価し、その結果を各隊員へフィードバックする。 ・隊長の立場から、各隊員ごとに訓練記録を作成し、継続性のある訓練管理を行う。			・訓練ごとにフィードバックすることにより、訓練効率が向上するとともに、同じミスをする回数が激減した。 ・各隊員の知識・技術的レベルを詳しく把握することができ、実際の災害活動時における指示・命令に役立てることができた。 ・副次的効果として、フィードバックの際の会話等を通じて、隊員とのコミュニケーションの機会が増えた。	・回を重ねるごとに指導者として技能も向上し、きめ細やかなフィードバックができていた。 ・訓練記録から各隊員に不足する部分が見えてくるので、人材育成に効果的に活用していた。 ・各隊員との関係も良好で、隊の雰囲気づくり、風通しの良い職場環境づくりにも貢献している。	a	a
3	【個人の目標】 部下職員への研修の実施	・部下職員に対し、毎月2回基礎的な業務知識・技術を身につけさせる係内業務研修を実施する。(緊急消防援助隊の派遣経験や消防大学校「救助科」の受講経験を活かした内容、立入検査に必要な知識など)	◎	◎	・自らの経験を活かし研修を実施することで、若手の経験不足を補うだけでなく、各隊員が率先して学ぶ姿勢が身についた。 ・部下への研修にあたっては、自らが復習、研鑽する必要があることから、自己の能力向上にも繋がった。	・ベテランとして、自らの経験や知識に基づく研修内容となっており、若手職員のスキルアップに寄与している。 ・研修の内容が警防業務に偏りがちなので、最広く消防業務全般について実施できるようにすることを期待する。	b	b
4	【個人の目標】 円滑な業務遂行のための管内把握	・当出張所管内の特性(道路狭隘箇所、勾配による消火栓圧力低下箇所等)を10月までに把握し、情報を取りまとめ2月までに編纂作業を行い、全所へ周知する。			・管内情報について、現場の写真も用いながらわかりやすくまとめることができた。 ・〇月〇日の火災では、本資料をもとに予め隊で検討していたため、素早くホース延長ができ、延焼を最小限にとどめることができた。	・管内の特性をまとめた資料は、実際の災害現場活動に役立っており、今後のバージョンアップも期待している。	b	b
5	※上記の記述はあくまで例示です。							

被評価者	所属:	職名:	階級:	氏名:
------	-----	-----	-----	-----

【2 目標以外の業務への取組状況等】

番号	業務内容	自己申告 (目標以外の取組事項、突発事態への対応等)	1次評価者
			(所見)

【3 全体評語等】

1次評価者		2次評価者	
(所見)	(全体評語)	(所見)	(全体評語)